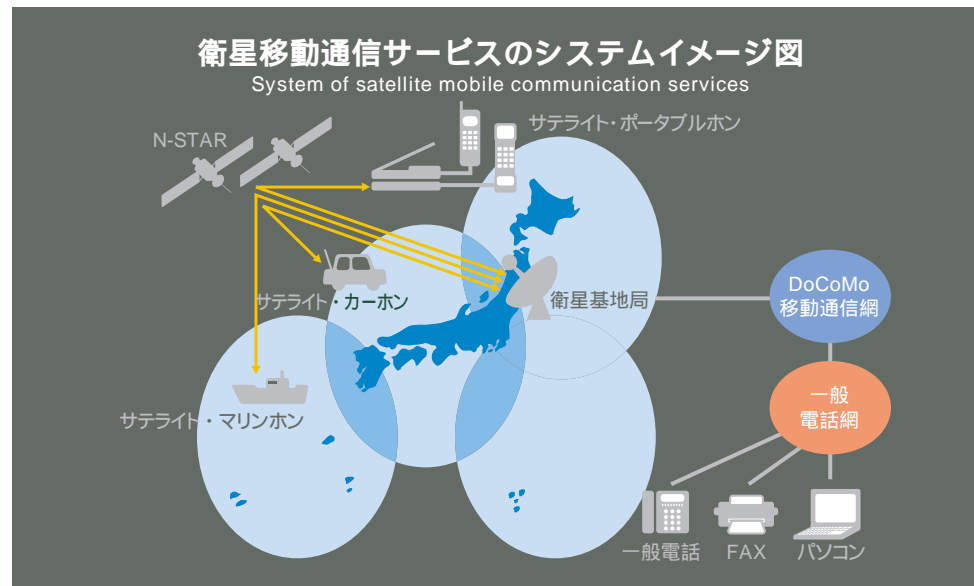


N-STAR衛星移動通信システムの概要

Overview of N-STAR satellite mobile communication system

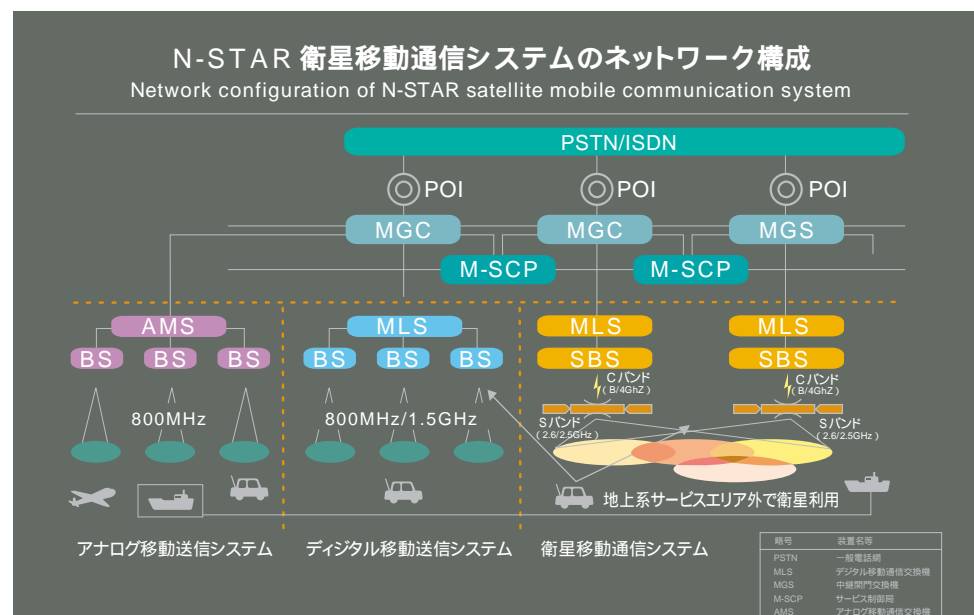
N-STAR衛星移動通信システムは、1995年と1996年に打ち上げられた2基のN-STAR衛星で構成されている。高度36,000km上空からのサービスであるため、従来の携帯電話ではサービスが提供できなかった山間部や離島などの通話を可能にした。さらに、地上での災害や気象の影響も受けにくいことから、信頼性の高いサービスの提供が可能となった。



N-STAR衛星移動通信システムの構成

N-STAR衛星移動通信システムは、2基のN-STAR衛星に、衛星基地局を1局ずつ配置し、それぞれの衛星基地局には、現用系と相互にバックアップが可能な予備系を収容している。また、自動車・携帯電話などの地上系システムとネットワーク上で統合されており、データ通信や画像情報の提供などの可能である。

項目	諸元	
周波数条件	周波数帯	サービスリンク:2.6/2.5GHz帯(S/バンド) フィードリンク:6/4GHz帯(C/バンド)
	所要帯域幅	サービスリンク:上り/下り回線各30MHz フィードリンク:上り/下り回線各72MHz
	チャンネル間隔	12.5kHz
伝送方式	伝送速度	14kbps
	変復調	1/4シフトQPSK/同期検波
	音声復合化	5.6kbps PSI-CELP CODEC
	誤り訂正	畳込み符号化/ビタビ復号
ゾーン構成	ビーム構成	日本本土および日本近海を4ビームで構成
回線制御	アクセス	SCPC (Single Channel Per Carrier)



略号	装置名等
PSTN	一般電話網
MLS	デジタル移動通信交換機
MCS	アナログ移動通信交換機
M-SCP	サービス制御機能
AMS	アナログ移動通信交換機